

夢の途中

夢をあきらめない！プロゴルファー 39歳

昭和42年3月生まれ 浦添市出身
くじょう かつと
国吉克人

鹿児島第一工業大学を卒業後、平成元年に沖縄タイムス社に入社。9年間勤めた後、プロゴルファーを目指すため退社。栃木県にある益子ロイヤルに研修生として入る。その後、沖縄パームヒルズでの研修生、那覇カヌチャインターゴルフレンジのインストラクターを経て、日本スポーツゴルフ協会、ゴルフティーチャーライセンス取得。



現在、那覇空港ゴルフ練習場にて、AGL(理にかなった飛ばすスイングを効率よく体に覚えこませるための練習法)『国吉ゴルフスクール』を開校し、講師を務める。

野球への見切りと ゴルフへの道

6歳の頃から野球一筋の人生だったんです。27歳までずっと野球漬けでゴルフは会社の娯楽でやっていただけなんです。25歳〜27歳の間で、もう少し上のランクで野球がやりたいということ、ノンプロの野球チームに所属したんです。その時、自分の野球の才能はここまでだと悟って、ゴルフを本気で始めるようになったんです。最初は、アマチュア並に上手になるうと思っただけ程度だったんですけど、やればやるほどのめりこんでいって…。夜勤明けで朝4時に仕事が終わったら、そのまま覆すに練習場に行くようになっていました。

ゴルフを続けたい！

野球をやっていたので、ゴルフは止まっている球を打つだけです。簡単だと思っていたんです。ただ、まっすぐ飛ばすことが難しいだけで。そういうのを意地になって、自己流で頑張っていたんです。でもある日突然、手に異変と激痛を感じたんです。知り合いに紹介された病院へ行くと、プロスポーツ選手によく起こる症状で、手の平にある骨が折れているといわれたんです。ギブスをして治るものではなく、手術が必要だと言

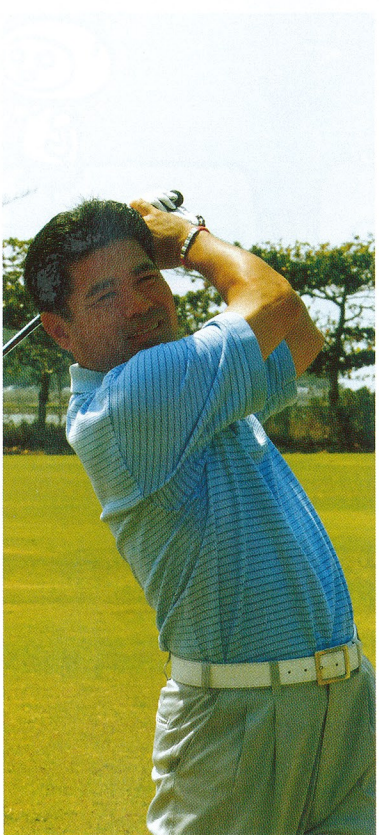
われました。「ゴルフを続けたいなら手術をしない」といわれて、これまで体にメスを入れた経験がなかったので恐怖はありましたが、ゴルフを早く再開したいという気持ちの方が強くて、仕事を休んで一週間入院して手術を受けました。そして、一ヵ月後にはゴルフを再開したんです。

19歳の記事の3年後

それから手が治って、半年くらい経った頃、たまたま見かけた記事に僕より一つ年上の人が「プロ野球を引退してゴルフに転向した」というのがあったんです。この記事を見て、闘争心が高ぶってきたんです。この記事に出逢ったのも縁だと感じたし、そこから気持ちがドンドンと変わって、アマチュアで強くなる領域から「プロになる」という気持ちが芽生えてきました。そこで、30歳にして沖縄タイムスを辞めて栃木の益子ロイヤルに研修生として入ったんです。親や友人の反対は、もちろんありましたが、自分の思いがかなり強かっただけに、他人や言うことは耳に入りませんでしたね。親も最終的には、自分の人生なんだから、好きなようにやりなさいと応援してくれました。

研修生としての2年

益子での二年は、朝6時に出勤し、午後1時には上がって練習をするという毎日でした。ここでは、フロント・レストラン以外の仕事は、ほとんどこなしていました。コース管理、スタート室の仕事、ポーターと呼ばれるゴルフバックの受け渡しなど、なんでもやりました。



益子ロイヤルに入るまで、年齢がひっかかって3ヶ所のゴルフ場に断られていたんです。だからこそ、必死に働いて練習に励みました。タイムスにいた頃は、いい給料を貰っていたんですが、ここに来て10万円以下の給料でした。だから退職金や貯金も使い果たしてしまいました(笑)。

今、辞めたら後悔する

パブルがはじけ、ゴルフ場も経営難の時代に入り、益子ロイヤルの限界を感じ辞めることにしました。鹿児島島の友人を訪ねながら、鹿児島で新しい研修先を探すと、同僚としての日々を過ごしていたんですけど、どうにもならなくて、結局沖縄に帰る決意をしました。

それからは、不安との戦いでした。自分の人生はどうなるのかわからないまま、親にはゴルフをあきらめて就職しろと言われたり…。夜は、天井を見ながら眠れない日々を過ごしていました。

でも、『今、辞めたら後悔する』その思いが自分にあったんです。そんな中、何かの縁があればまたゴルフを続けられる環境が作れるんじゃないかと思

ないかと思っ、大京オーブントーナメントでキャディのバイトをしたんです。そこで、出会った佐藤剛平プロによって、転機を迎えられました。この方に出逢わなければ、今僕はここにいないんじゃないかと思

今、辞めたら後悔する

佐藤プロは、僕に「ゴルフは辞める」と言いながらも、いろいろと面倒を見てくれました。佐藤プロから久高材木店の社長を紹介され、久高さんには、パームヒルズの社長を紹介され、翌年にはパームヒルズに研修生として入社できたんです。

ただ、パームヒルズでの研修時代は、年齢からくる体力の限界も感じ始める苦しい時もありました。朝6時に出勤し、午後3時まで仕事した後、そこから自分の練習をするというのが大変でした。それと、ゴルフをしたきた方に年齢を聞かれて答えるのがとても嫌なときもありましたね。プロになるには、遅いんじゃないかって言われることもよくありました。そのときの中は、「誰にも迷惑をかけているわけじゃない」と、反発してましたよ。負けず嫌いな性格

自分自身への期待

今、教える立場としては、目標は叶ったと思いますが、ツアーに出てプロとして一戦を踏まえるという夢は、まだ叶っていません。年齢は関係なく、十代に花咲く人もいれば、二十代、三十代で花咲く人もいます。僕は、来々四十ですが、三十代まで土台をつくったので、四十代で僕の花は咲くんじゃないかな。僕自身で僕に期待をしています。『継続は力なり』が、僕の座右の銘です。続ける信念の強さが大切。そして、強さも大切ですが、ひとつひとつの出逢いも大切にしてください。僕にとって、強さをもつ人に会ったからこそ、僕自身も強くなれましたから。